

城西図書館だより 2015年11月号



NEW ADDITIONS 新しく入った本

- ケルト、神々の住む聖地** ヘクター・マクドネル/著 ウィリアム先生の故郷アイルランドの神話の本です。
- コーチングとは「信じること」 エディー・ジョーンズとの対話** 生島淳/著 W杯で歴史的な勝利をあげたラグビー日本代表チーム。ヘッドコーチエディーの言葉とは。
- Q&A火山噴火127の疑問** 日本火山学会/編 御嶽山や桜島、箱根山など、火山の噴火が相次いでいます。火山がひしめく日本列島で暮らす私たちが知っておきたいこととは？
- ラウンドタワー** ヘクター・マクドネル/著 古代アイルランドのラウンドタワーは修道院の遺跡として謎が多い構造物です。なぜ、こんなに高い塔を建てたのか謎の答えを探る！
- フリークライミング&ボルダリング** 佐川史佳/編著 今、大人気のフリークライミングとボルダリングの技術と知識を解説。全国のエリアガイドも多数収録。やってみる？
- マンガ西洋美術史 1 「宮廷」を描いた画家** 中野京子/監修 マリー・アントワネットの肖像画など、豪華絢爛の宮廷を描いた画家の激動の人生とは。監修は中野京子さん。
- 「だから、生きる。」** つんくみ/著 歌手として一番大切な「声」を失ったつんくみ。声帯摘出に至るまでの日々や家族のこと、そして、歩き始めた新しい生活について書かれています。
- 英語で遊ぶおりがみ** IBCパブリッシング/編 日本の伝統文化を英語で披露できるよ！子どもの頃に作った簡単な折り紙にチャレンジ♪日本語と英語併記です。
- 芸人と俳人** 又吉直樹×堀本裕樹/著 芥川賞受賞で大忙しのピース又吉さんが俳句入門！俳人堀本さんとの対談やエッセイ、俳句が収められています。俳句の基礎もわかるよ。
- 職業としての小説家** 村上春樹/著 誰のために書くのか、どのように書くのか、なぜ小説を書くのか…。紀伊國屋書店の買い取りで話題にもなった村上さんの最新刊！自伝的エッセイ。
- 神様のカルテ 0** 夏川草介/著 人気シリーズの短編集です。医師になる前の一止と仲間たちの友情物語など、「神様のカルテ」に登場する人物のエピソード満載。
- 王とサーカス** 米澤穂信/著 「さよなら妖精」から10年、太刀洗万智が再び動き出す！ネパールで実際に起きた王族殺害事件をモチーフにしています。 ←オススメ
- 心霊探偵八雲 ANOTHER FILE 裁きの塔** 神永学/著 大人気スピリチュアル・ミステリー外伝。晴香が殺人犯!?シリーズ最大の危機に八雲が立ち向かう！
- 文豪ストレイドッグス 1〜3** 朝霧カフカ/著 大人気コミックの小説版。登場人物は、太宰治、坂口安吾、森鷗外などみんな文豪！作者の名前も「カフカ」です♪
- リバーズ** 湊かなえ/著 「人殺し」と書かれた告発文が送られてきた！本当に殺したのかたまたまの嫌がらせか!?最後のどんでん返しは、やはり湊かなえさんです。ドラマ化間違いなしの作品。
- ダブリナーズ** ジェームズ・ジョイス/著 作者は、アイルランドの首都ダブリンの生んだ世界的に有名な作家です。「ダブリンの市民」の新訳。20世紀初頭の市民を描いた短編集。
- その女アレックス** ビエール・ルメートル/著 2015年翻訳小説部門本屋大賞第1位ほか、「このミステリーがすごい!」「ミステリーが読みたい!」など、7冠受賞作です。
- グリムの森へ** 阿川佐和子ほか/著 グリムの有名な物語11編を、日本の有名な女性作家が再話。19〜20世紀前半に描かれたさし絵もふんだんに掲載されています。巻末に解説あります。

知っていますか？ 読書週間 (10月27日〜11月9日)

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦争の傷あとが至るところに残っているころ、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミの協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから70年近くが過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。

読書週間のシンボルマークは「ふくろう」です。その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたそうです。

そこで、森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとして最もふさわしいものと考えられ、長い間使用されています。



文化の日をはさんで2週間が読書週間となっています。

図書委員おすすめの本 3年生編 Part 1

世界から猫が消えたなら 川村元気/著

→猫のキャバツがかわいい♪

左近の桜 長野まゆみ/著

→主人公が美人。表紙がキレイ。内容もおもしろい!

貴族と奴隷 山田悠介/著

→山田悠介の本はおもしろいからおすすめします。

源氏物語 紫式部/著

→古文の勉強になるから読んでみてください。

第2回図書館フェア開催中!(11月13日まで) 「世界遺産を旅する」

世界遺産の写真やガイドブックのほか、24~26HR 選択授業「絵本の世界」で作った本の帯や、34~36HR選択授業「異文化研究」や「CEⅢ」で世界遺産について調べた作品も展示しています。

きっと、世界旅行がしたくなるよ♪